



令和8年3月27日
日本下水道事業団

工事費積算システムについて

日本下水道事業団は、工事等の入札予定価格の算定にあたり、工事費積算システム（以下、「システム」という。）に数量、条件等を入力して積算しております。

この度、当該システムのプログラムの不具合により、機械設備工事における機器据付費が適切に計上されないケースがあることが判明し、一部の工事について入札を取り止めた事案がありました。

既に契約を締結済みの当事業団発注工事等（以下「既契約工事等」という。）について調査を実施した結果、1件の工事において、本来の落札候補者と異なる事業者と契約を締結していることが判明いたしました。当該契約は既に成立しており、工事の進捗状況等を考慮し、継続することといたします。

このような事態を招き、関係者の皆さまに多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、皆さまの信頼を損ねたことを深く反省し、再発防止に努めてまいります。

1. 経過・概要

令和8年1月16日に、日本下水道事業団において発注した工事について予定価格の算定の一部に誤りがあることが判明し、入札を取り止めました。

既契約工事等についても同様に調査を実施した結果、誤った積算単価を使用した工事が11件確認されました。このうち1件の工事では、入札予定価格の誤りにより、本来の落札候補者とは異なる事業者と契約を締結していました。

なお、この1件の契約は成立しているため、進捗状況等を勘案し工事を継続します。

2. 落札候補者への対応

本来であれば、落札候補者の資格を有していた2事業者に対して、今回の事案に関する経過の説明と謝罪を行いました。

3. 再発防止策

今回の不具合は、すでに修正を行い同様の誤りが起きないことは確認しています。また、積算上の誤りが起きた際には、警告表示により入力者が確認を行えるようシステムの改良を行い、適正なシステム運用と管理の徹底を図ってまいります。

<問い合わせ先>

D×戦略部システムマネジメント課長 三上 譲
TEL 03-6892-2020

